

| 記者発表（発表・資料配布） | | | | |
|---------------|--------|--------------------------|------------------------------|-------------|
| 月／日 （曜日） | 担当課名 | TEL | 発表者名 （担当者名） | その他の 配布先 |
| 4／23 （木） | 総務部教育課 | 078-362-3104 （内線2526） | 教育課長 魚住 昌弘 （私学教育班長 中村 悠介） | ―― |

高等学校等就学支援金オンライン申請システム（文科省システム「e-Shien」） における個人情報の漏えいについて

高等学校等就学支援金（授業料）オンライン申請システム（文科省システム「e-Shien」（以下「システム」という））において、個人情報4件が漏えいしましたので、報告します。

1. 概要及び漏えいの経緯

【高校等就学支援金申請の流れ】

- ・ 本県私立高校等においては就学支援金の申請・認定等に、文科省システム「e-Shien」を利用
- ・ 同システム申請では、令和7年度までは各学校が生徒分をとりまとめ一括申請
- ・ 令和8年度からは文科省の運用変更により、生徒本人からの直接申請に変更

【個人情報漏えいの経緯】

- ・ 令和6年度に、システムにおいて学校担当者が誤って、生徒A・生徒Bについて、それぞれの保護者の個人情報を逆に登録。その後、学校が誤入力に気づき、直ちに修正を行った。なお、この時点では漏えいは生じていない。
- ・ 令和8年度に本人申請への変更に伴い、生徒Aの保護者が申請時に、過去の誤入力の履歴情報を発見し、学校に「生徒Bの保護者の個人情報が閲覧できる状態になっている」旨の連絡があったことで漏えいの事実が発覚

2. 流失した個人情報

氏名、生年月日、続柄、生活扶助の有無、課税市町名

※漏えい件数：2校 4件

（上記以外で個人情報の漏えいのおそれがあった件数：2校 310件 ※漏えいは確認されていない）

3. 事案への対応

- ・ 学校から報告を受け、文科省と対応を協議。また同様の事例がないか県内私立高校等に確認
- ・ 生徒IDを変更しログインを出来なくすることにより漏えいの恐れがある状態を解消
- ・ 文科省に対して過去の入力履歴について非表示にするよう、システム改修を要望

4. 再発防止への取組

- ・ 本件は文科省システム上のものであり、本県からの要望も踏まえ文科省において補修的なシステム改修を行うため、今回の事例は今後発生しないと考えている。
- ・ 個人情報の丁寧かつ慎重な管理・取扱いについて、私立高校等関係者及び庁内において周知等を行う。